

K.S.G
Vol.3



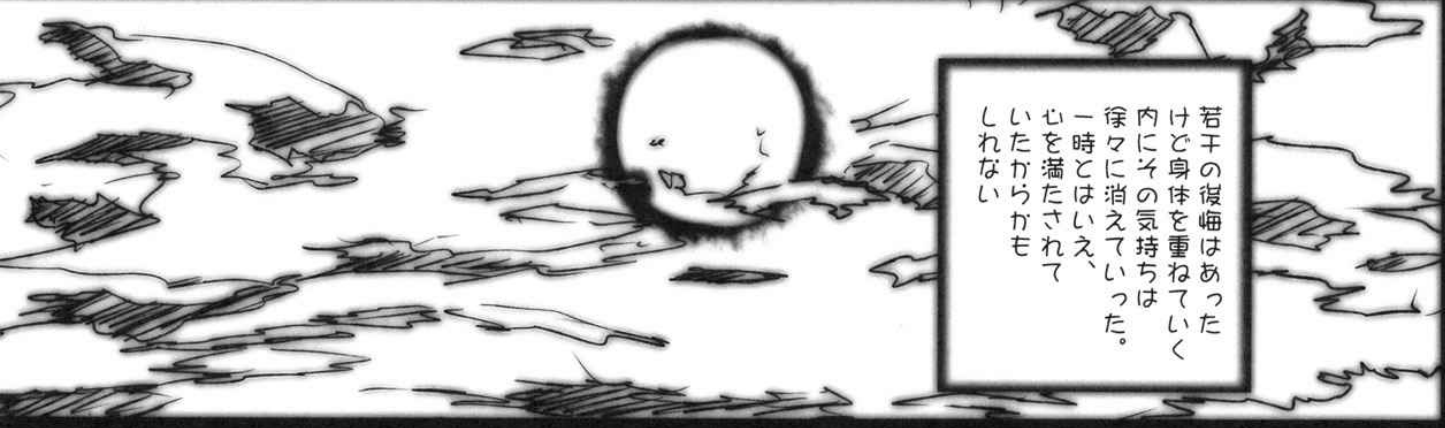
For ADULT ONLY

アスナさんを想う気持ちが強すぎて自分自身を追いついで行ったキリト君に付け入る形で身体を重ねたわたし...

実はそのキリト君が赤兄ちゃんだと知ったのは少し後の事だった...



若干の後悔はあったけど身体を重ねていく内にその気持ちは徐々に消えていった。一時とはいえ、心を満たされてきたからかもしれない

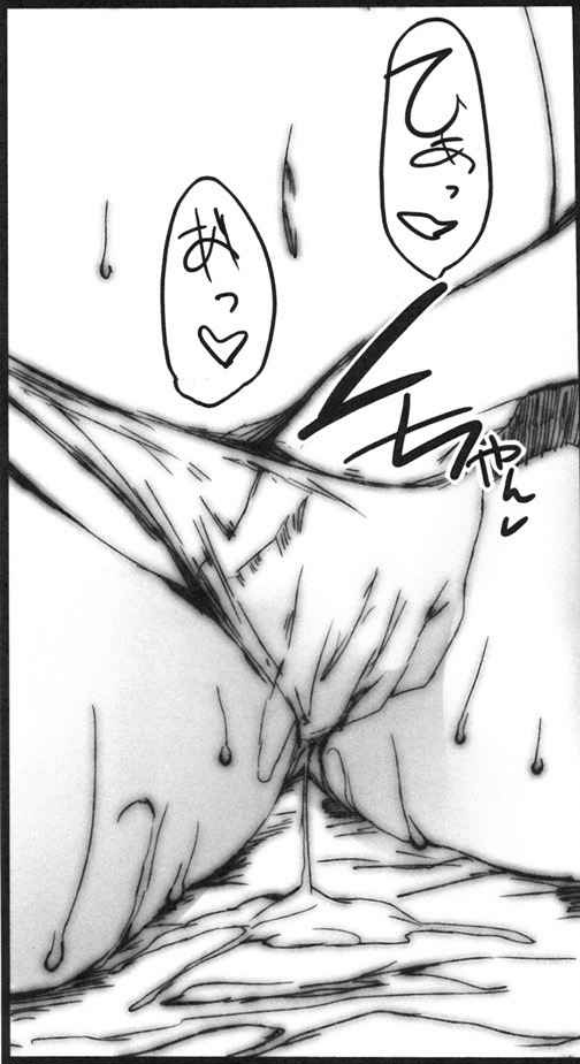
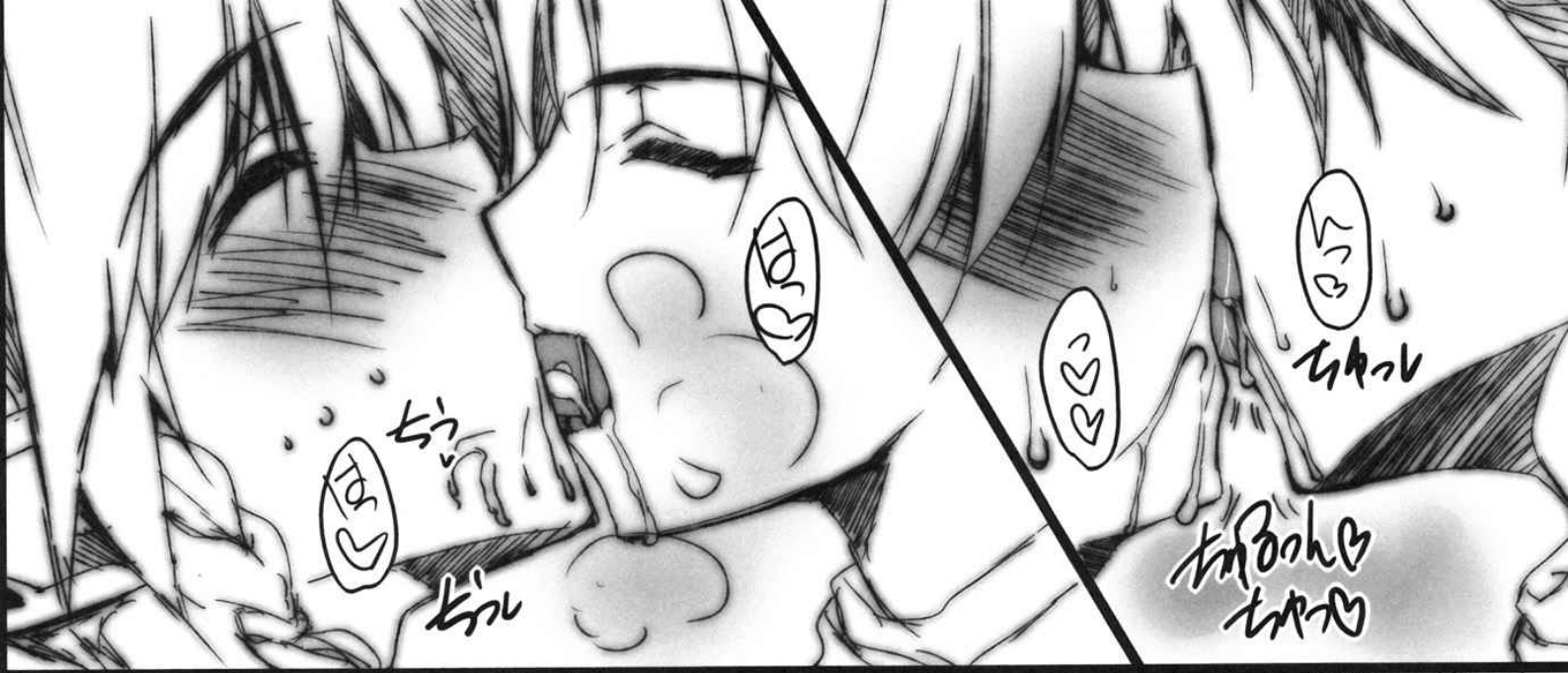


私は純粹にキリト君の事が好きだったし

やはっ
キリト君...

キリトくんも私を抱く時は私を心から愛してくれてるのがわかったから...









いっせー

やほ

やほ
オモオモ

ふき

おっ

おっ おっ

もー…おめる
とまぐ調子に
のるんだから…



いっせー

キリト
くん…

さっきも言ったけど
女の子の体は
デリケート
なんだから…

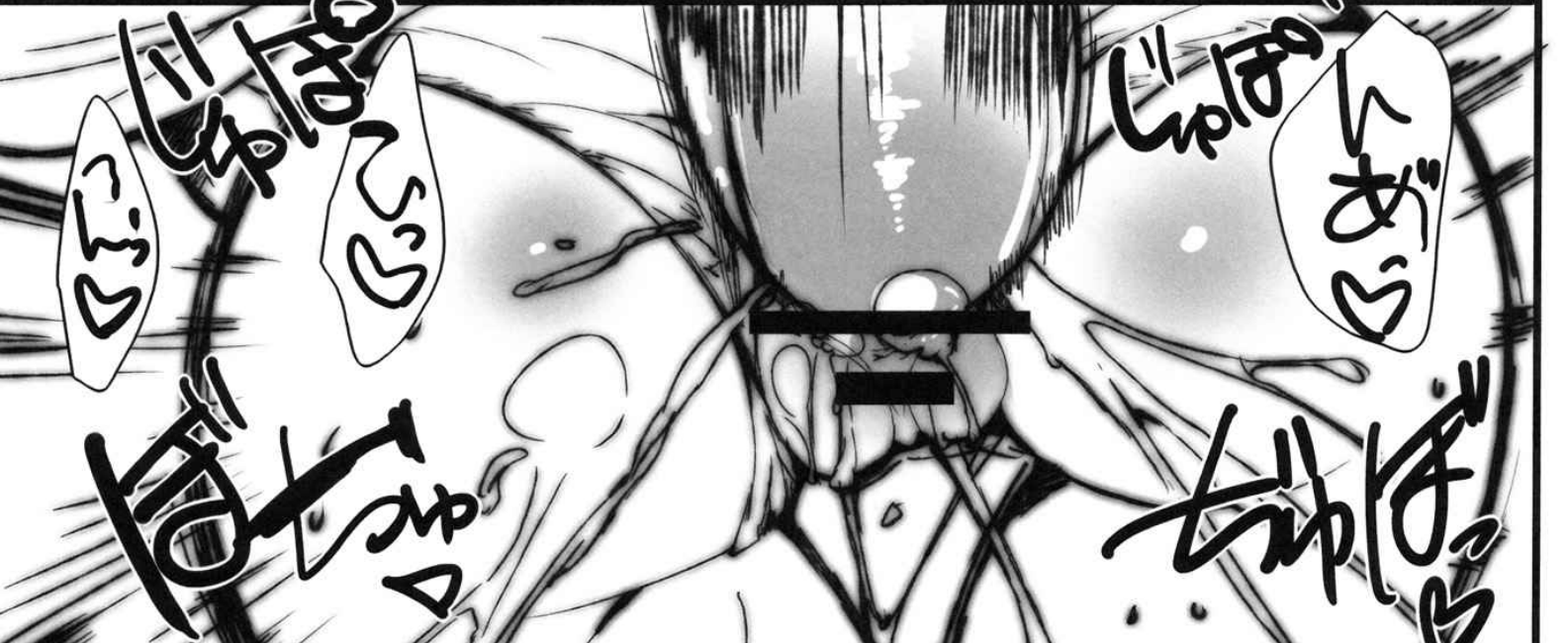
もう少し
優しくね…ね

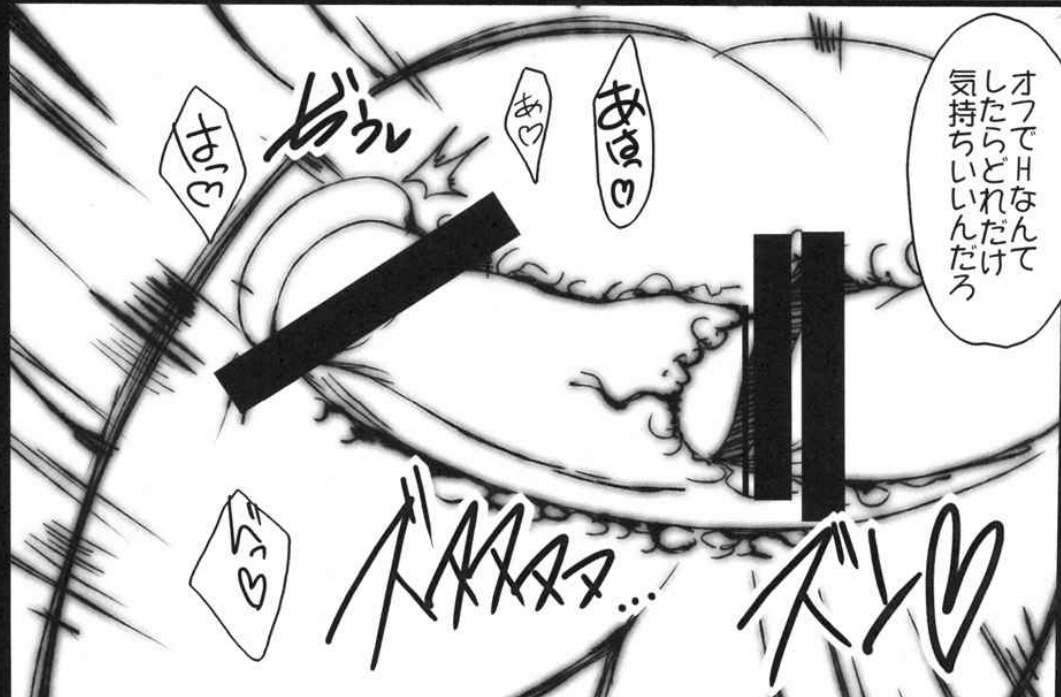
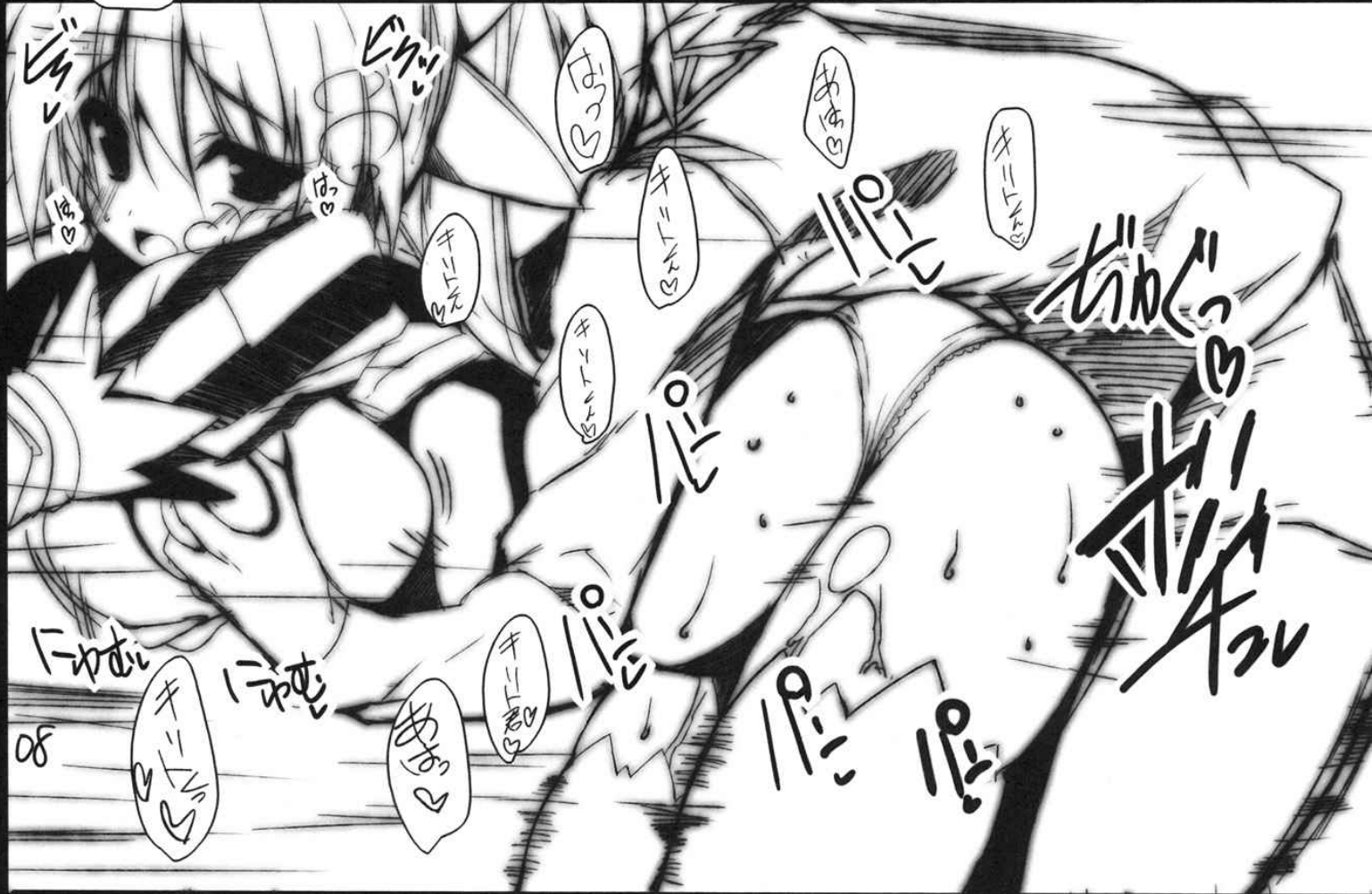
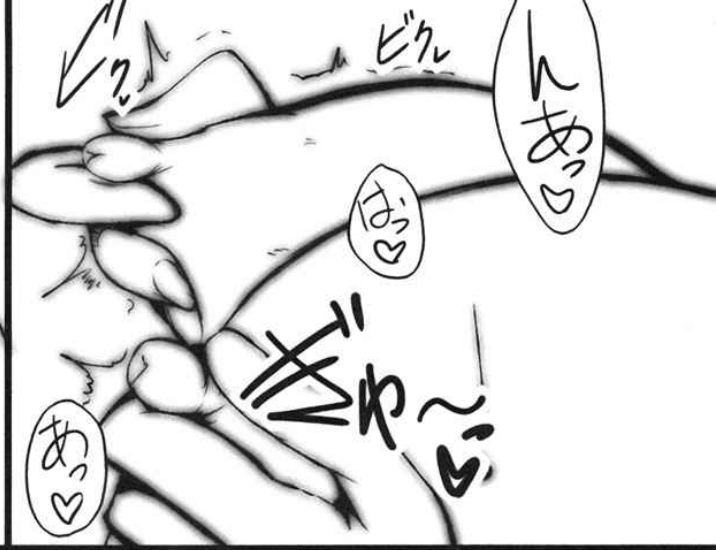
あぁ

いめん…

アスナの事が
頭にチラつ
いて…

そっか…後ろめたい
んだね…アスナさんを
裏切ってるみたいで
ないんだけど…







わわっ…
キリトくんっ

少しだけ
見せて…

っっ

そしてイヤ
とはいえない
あたし…

もう少し
だけ…

は、恥ずかしい
からそろそろ
やめよ…?

そんなまじまじ
と覗かなくて…

キリトくん…
もといお兄ちゃん
のダメな性癖…
中出ししたあと
あそこを広げて
観察すること…

キリトくん…



っ
//////

っっ
おっ

惚れた
弱みつて
言うのかな…

ん…♡



ねえ…
お兄ちゃん…



な…?

オフでH…
しよつか…?

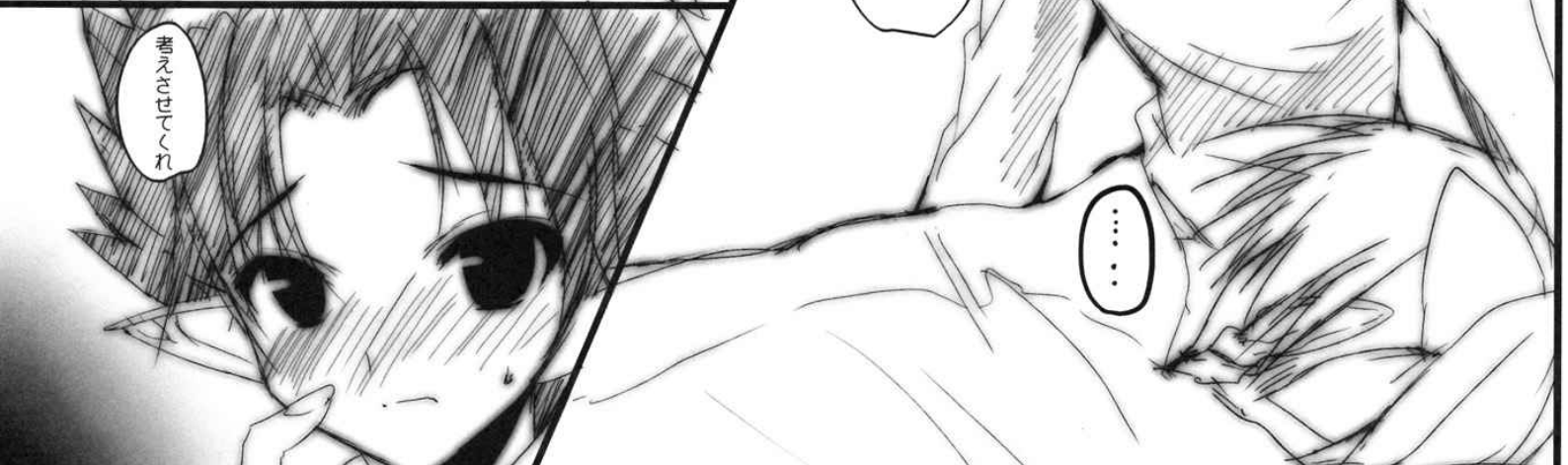


何言ってるんだよ
急に…それに
お兄ちゃんつて…

……

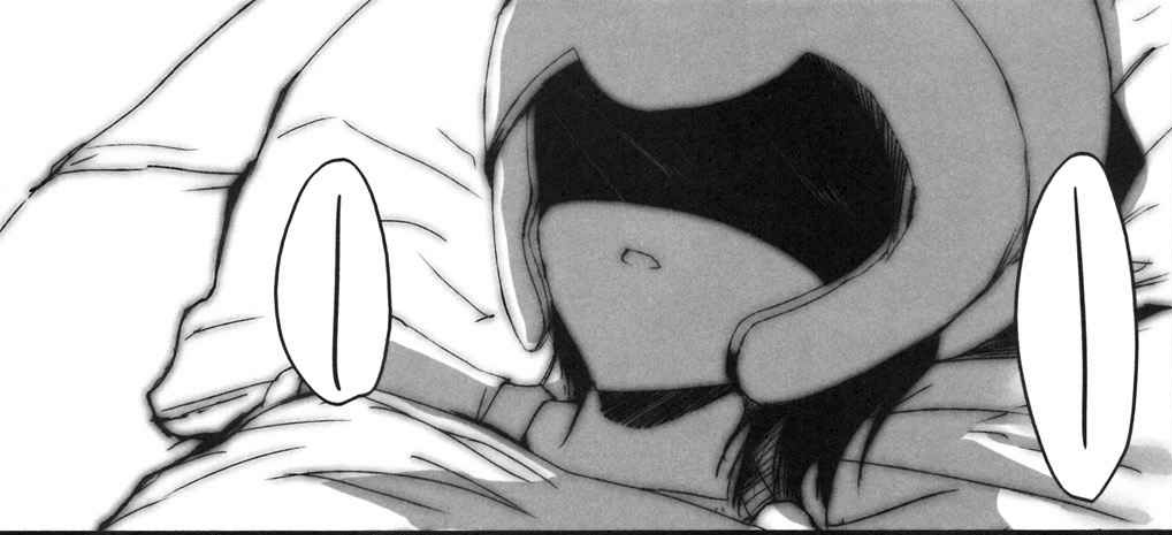
少しだけ…

少しの間だけ



考えさせてくれ

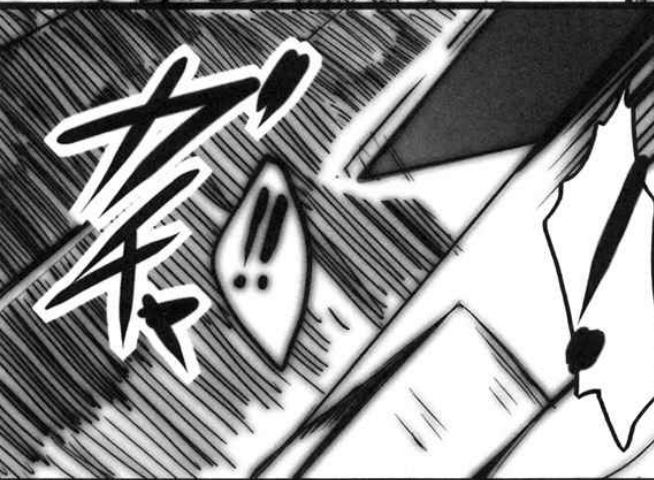
……



どんな顔して
お兄ちゃんに会えば...

オンラインで
誘っちゃうなんて...







ちゃんと…答えを聞かなきゃ…

16





「アスナさんを諦めないで」
その気持ちの後押しをしたのはあたしなのに

その気持ちは
今も変わらない



俺…アスナを愛してる…
心から…



つらい…
体中の毛穴が開き
きつて熱が出るくらい、
思いが爆発しそう…

スグ…？



でもな…
俺、スグも大好き
なんだ…



…なんて言え
ばいいんだろな

だから…
その…

え…？

スグ
いが
欲し
が…

えっ…

キキキッ♡

ドキ

落ち着けあたし…
これは夢…ユメ…

嘘じゃ…
ないんだ
よね…

っん…

例えば悪くて
アしたけどスグも
アスナも…同じくらい
愛してるから…

あ…
あし…

幸せ…
かも…

もじ

もじ

ポッ

...か...



ああ...





ぐい
スクだって負けない位
えっちだよ

ぐい

ぐい

こんなに濡れてる
じゃないか...?

お兄ちゃん
触り方が
えっちいよ...

はっ

そ、そうか？
でもスクだって



すっつと
濡れっぱなし
だった...♡

はっ

実はね...
こっちから
戻ってから

え？



ちゅく

そっか...
じゃあ恥すかし
ついでに
もう一つ...

舐めても
いいか？

ちゅく

ちゅく

なあ...♡

ちゅく

ちゅく



ふん...♡

スクの...
ま...こ...

聞こえ...
ない...♡

ぐい

ま...ま...
こ...

ど...こ...
を...♡

おん

お兄ちゃんの変態さん…

カアアア…

…う

スグだって
気持よくなって
たくせに…

そんなこと
言っちゃうんだ…

スグが嫌なら
別に…

一度言ったこと
引込めないのっ

だって変態とか
言われたら

お兄ちゃん

いいよ…
甜めても

変態なのは
あたしも一緒
かな…

支ゆあ



やっぱり現実の
感覚ってすごい…



それじゃあ



オんだと部位全体の
快楽っていう感覚で
とどまっていたのに…



あたしの中の
お肉のヒダが…
一つ一つヒクついて
わきているのが…♡

すごい…
あたしの…



お兄ちゃん…♡

白い吸ってる…♡
空気が触れて
冷たい…♡

白い吸きながら
舐めるなんて
ド変態さん
すぎるよおん♡



スクの…♡
いい白すぎて
すつと吸いでいたい
んだよ…好き
すぎる…♡

あ♡

あ♡

あ♡

スー♡
スー♡



体がお兄ちゃんを
ほしがっちゃうてる...



大きい...

それには
すごくいい
匂い...

おらんちんって
こんないい
匂いだっただ
いた

ズグ...
ハゲ...

もう我慢
したくない...
ほしい...♡



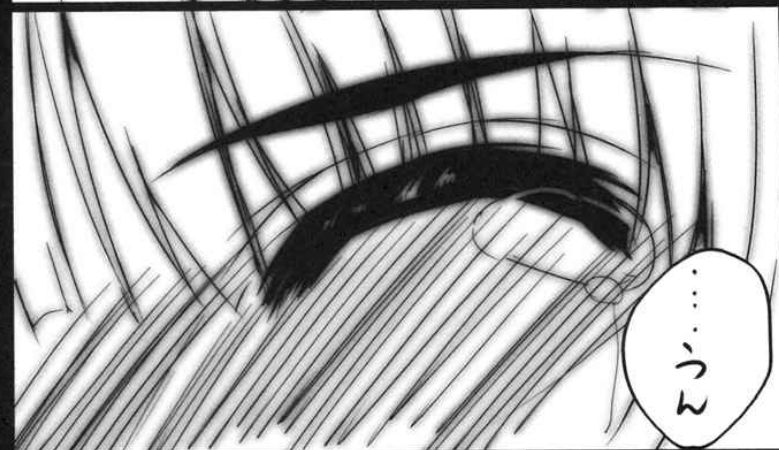
ニヤニヤ
むりゃりゃ...





「ねえお兄ちゃん...」ん...?」「さっきはごめんね...和人って呼び方はアスナさんだけだったのに...」

「いや...正直嬉しかった... その呼び方...一人の男として見てもらえた感じがしてさ...」うん...



いるよ... お兄ちゃんのそばに...ずっと...

奥付
発行者：甘泉少女（能都くるみ）
発行日：2012/10/28
印刷：（株）サングループ
Mail：nt.kurumi@gmail.com
18歳未満の方の閲覧を固く禁止します。
無断転載、無断掲載の禁止。
アップロード等の禁止。

ちっちゃくおじゃまします、ども能都くるみです。今回は久々のガチイチャラブを書きました。セリフもエロよりスグの想いに傾倒させて描いています。普段描いてるエロ漫画より流れがスムーズな感じがしましたがまあ気のせいでしょう...。好きな相手に別の好きな人がいるのはつらいですよ。スグたんはまっすぐな女の子なのでせめて自分の本でくらい幸せになってもらわないとって考えでおっぱじめました。皆さんに少しでも伝われば良いのですが...

K.S.G VOL.3
Kansenshoujo graphics